

Love has just begun.
It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

IGLの理念・組織 そして教職員像

IGLの理念・組織に基づいての 期待する職員像

職員の皆様には、お一人おひとり全員にリーダーになってもらいたいと思っています。IGLの職員として誰一人として欠けては困るということです。百人の内九十九人が一生懸命頑張っても、たった一人の心無い行動によって百人が悪者にされてしまうのです。一人ひとりがIGLの代表であるということを常に頭に入れておくべきだと思います。

『三人寄れば文殊の知恵』という言葉があります。三人十人と集まり、それぞれが知恵を出し合えば、何かが出来上がります。“自分が自分が…”と自己主張ばかりしていると、組織が崩れていきます。皆が同じ方向を向く、同じ目標を持つということが必要です。つまり、皆が一致団結して努力・助け合いを行うということです。

職員研修の中で、毎回私は申し上げているのですが、職員・リーダーにとって一番大切なことは“理念”“哲学”“思想”を学び理解することです。

理事長 永見 憲吾

IGL理念=隣人愛

宗教を超え、思想を超えて“愛”とは人間が求める最高の善であると思っています。どの宗教でも“愛”は皆が求めるものなのです。『自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい』これは逆に言うと『自分がしてもらいたくないことは、相手にもするべきではない』を意味しています。

組織・会議の重要さ

コミュニケーションの大切さ

各セクションのリーダーが集まり情報交換、共通理解をする為には、会議が必要です。会議に費やす時間もつたいないと思われがちですが、同じ目標を持つ、同じ方向性を向くためには必要不可欠なのです。立派なマニュアルがあっても、方向性がある程度まとまっても、情報交換・共通理解をする場を設けることは大切なことです。正反対の意見を持ったお互いが、バトルとなった時、意見を一致させる為にはコミュニケーションが必要です。同じ組織に所属しているのであれば、同じ方向性に向く必要があります。その手段はやはり会議なのではないでしょうか。



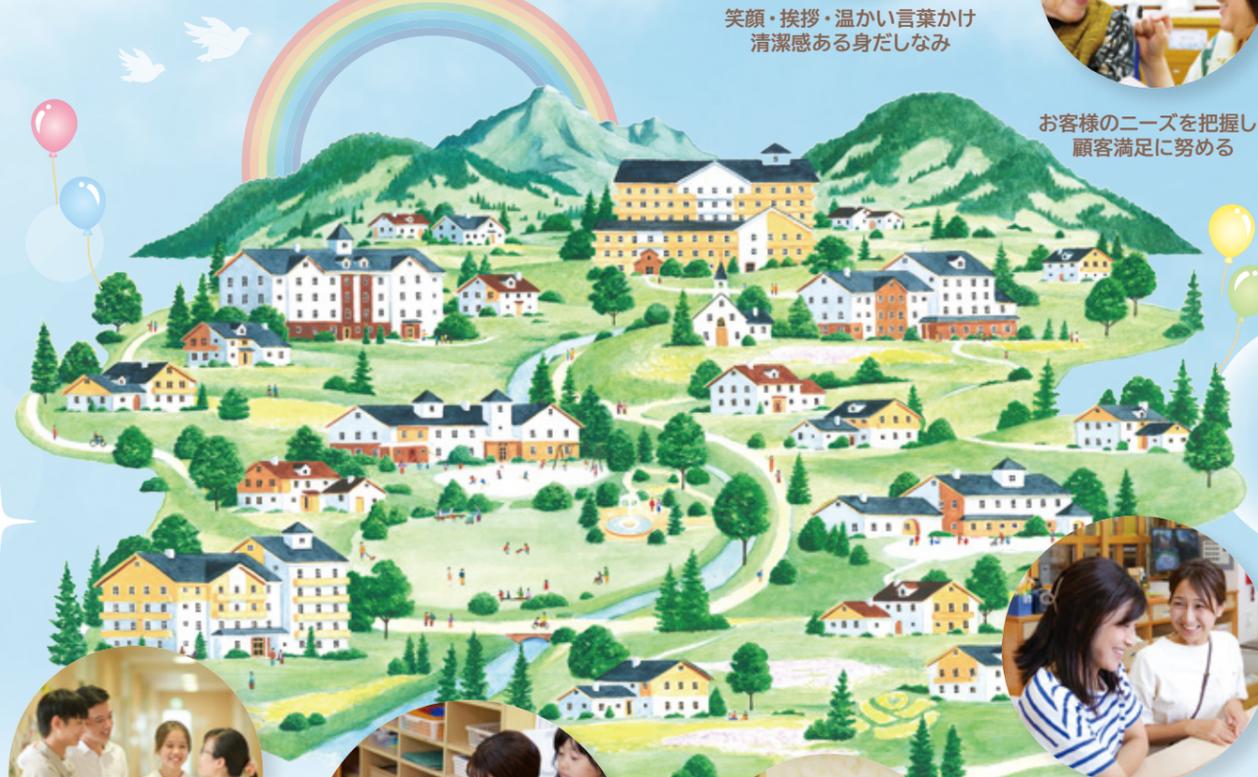
愛の中で優しさが育ち
遊びの中で生きる力が育まれる



笑顔・挨拶・温かい言葉かけ
清潔感ある身だしなみ



お客様のニーズを把握し、
顧客満足に努める



教職員間・学生・保護者との
意思疎通、信頼関係の確立



愛されていること、
愛することの喜びが実感できる保育



チームで成長
迅速な報告・連絡・相談



保護者・教職員の心が
ひとつになれる
アットホームな雰囲気作り



学生のもつ夢や悩みなどに
共感し理解する

サービス業としての教育福祉

医療界では、患者さん=ペーシエントから、患者さんをクライアント(お客さま)と呼び方を改めたように、教育福祉もサービス業としての教育福祉に変わるべきではないだろうかと考えておりました。サービス業といえば、子供やお年寄りを商品化しているように思いますが、ここでのサービスとは“奉仕する”という意味です。私たち教育福祉が目指すサービスとは一流のホテルで働く社員の姿勢ではないかと思えます。居心地の良い雰囲気を作り出す、行き届いたもてなし(ホスピタリティ)で接することを見習うべきです。

報告・連絡・相談(ほうれんそう)は 仕事上手のかくし味

毎日様々なことが各施設で起こります(子供が怪我をした等)。しかし、施設長・園長クラスが何が起こったのか把握しておかないと社会的責任が持てません。その為には、報告・連絡・相談(ほうれんそう)が大変重要です。

2024年度入職式

2024年4月1日、入職式が執り行われました。
IGL学園福祉会には中国からの留学生を含む4名の新卒の皆さんが入職しました。

各自へ辞令交付の後、永見理事長や加藤チャプレンからIGLの理念「隣人愛」の大切さを説くメッセージが送られ、緊張感と温かい笑顔に包まれながら無事に式が終了しました。入職式の後には、法人内の先輩職員が講師となって新任研修を行います。法人の理念や組織について、介護の基礎知識等を学んだ後にいよいよそれぞれの現場に配属です。

これからIGLグループの一員として、一緒に頑張っていきます。



理事長から辞令を受け、正式にIGLの職員になりました。



IGL医療福祉専門学校介護福祉学科を卒業した中国人留学生。



理事長から心のこもったメッセージをいただきました。



期待の新卒の皆さんを温かく迎え入れようと、経営陣や先輩社員が集まりました。



仲間と共に成長していきましょう!